

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

|     |           |      |       |          |       |
|-----|-----------|------|-------|----------|-------|
| 学校名 | 広島市立観音中学校 | 校長氏名 | 中山 昭彦 | 生徒指導主事氏名 | 原田 利博 |
|-----|-----------|------|-------|----------|-------|

## 取組事例名 『体育大会への取組』

## 取組のねらい『キーワード つなぐ』

- ・学級・学年・縦割り学級群をつなぐ。
- ・係分担や練習などを通して団結することにより、学級集団の向上を図る。
- ・委員会を中心に、生徒の力で運営できる力を育てる。



## 取組の具体的内容『キーワード つながりをつくる』

- ・朝練習・放課後練習を行う。

リーダーが練習への全員参加を呼びかける。クラス内で上手なやり方を工夫したり、声を掛け合うことで、クラス内の団結力を高める。また、縦割り学級群の中でアドバイスを与えたりもらったりしながら、縦割りのつながりを作る。



- ・縦割り交流会の実施（合同ムカデ練習、合同ダンス練習）

上級生が下級生に指導する。上級生には自覚が、下級生にはリーダーを認める雰囲気を作る。

- ・ありがとうカード作成

同じ学級群のクラスに“ありがとうカード”を送る。運動が苦手な生徒もありがとうカードをもらうことで、“頑張ってよかった”“文化祭でも頑張ろう”という気持ちが持てるようにする。



## 取組の課題・創意工夫『キーワード みんなを巻き込む』

- ・3年生からメンバー決めアドバイス、応援団員募集の呼びかけ

3年生が1・2年生の教室に出向き、競技の説明や、メンバーを決める際に工夫すべき点などを説明する。また、応援団員募集の呼びかけも行う。

- ・マナー点検の実施

着ベル点検、服装点検を行う。違反があった場合は体育大会本番の得点から減点する。リーダーや委員会生徒を中心に学級内で声かけを行う。



- ・保護者席は生徒席と同じにする。

保護者は生徒と同じテントに入ってもらい、生徒の実態を知ってもらい、生徒に声かけをしてもらう。



## 取組の成果（効果）『キーワード 憧れを持たせる』

### ◎文化祭に向けて

#### ・合唱祭への取組がスムーズに行く

次は文化祭に向けて頑張ろう、文化祭ではパートリーダーを中心にクラスで頑張っていこう、文化祭でも学級群みんなで頑張ろうという雰囲気が自然に出来上がる。

#### ・縦割り合唱練習の実施

パートリーダーを中心にして後輩からは感想、先輩からは感想とアドバイスをもらい、合唱練習の取組に生かす。

### ◎学校生活において

#### ・リーダーがみんなに認められる雰囲気ができる

みんなの前に立ち、みんなを引っ張って行ってくれるリーダーを認め、憧れ、リーダーになりたいという雰囲気ができてくる。

## 今 後 の 展 開『キーワード バトンをつなぐ』

#### ・3年生にエールを送る

入試前に、1・2年生の応援団員が縦割り交流でお世話になった3年生のクラスに行き、エールを送る。3年生からは、1・2年生にありがとうカードを送るとともに、代表者がメッセージを伝えに行く。

#### ・2年生が中心となって卒業式の歌練習を行う

2年生が中心になって、在校生の合唱練習、全体合唱練習を指揮していく。

#### ・授業への展開

みんなでやるのが楽しい、仲間を見捨てないという気持ちを持てるようになる。3年生からの声かけを自分たちの「関わりとつながり」に。

## 他校へのアドバイス『キーワード みんなをつなぐ』

#### ・生徒同士、保護者と生徒が声を掛け合わざるを得ない状況を作る。